

7) 今年度のCPCを6月から11月にかけて計5回開催した(第772回は前年度開催)

開催回	開催日	担当科	臨床診断名
第772回	11月8日(月)	糖尿病・代謝・内分泌内科	膵尾部癌
第773回	6月27日(月)	泌尿器科	精巣腫瘍
第774回	7月25日(月)	小児科	新生児心不全
第775回	9月5日(月)	呼吸器内科	閉塞性細気管支炎
第776回	10月3日(月)	循環器内科	急性下壁心筋梗塞
第777回	11月21日(月)	腎臓・高血圧内科	菌血症

2. 専門修得コース(レジデント)

- 1) 2022年度は、レジデント138名[本学初期臨床研修修了者67名、他施設初期臨床研修修了者71名(うち本学卒26名)]を採用し、各科にて専門修得コースの研修を開始した。
- 2) 2022年度中に専門習得コースを修了した者は141名であった。そのうち、休職(産休・育休)等の理由により、年度途中で修了認定されたものは13名であった。
- 3) 専門修得コースの修了要件になっている「レジデントFD」を2回開催した(6月25日、11月26日)。やむを得ず受講できなかった医師には、別途補講を実施した。
- 4) 本学を卒業した1年目の臨床研修医を対象とした「親睦・情報交換会」は、COVID-19感染が収束しないため、本年度も開催を見合わせた。(2019年度開催、2020年度から中止している)
- 5) COVID-19感染拡大のため、2020年度は病院見学の受入れを一時ストップしていたが、2021年度以降は感染対策を行ったうえで受入れを実施している。
- 6) 2022年度レジデント(専攻医)の採用試験は2022年10月29日(土)に実施した。小論文はwebを活用して事前に実施し、面接に関しても遠方からの応募者はオンライン(Zoom)で対応した。採用試験は計4回開催し、全応募者数は152名(うち採用者147名)であった。
- 7) 平成29年度より実施している「レジデント期間中の診療部長評価」を、2022年度も継続実施した。評価結果は、レジデント修了後の正規採用時の判断資料として用いている。評価の低いレジデントがいる診療部には、病院長と診療部長で面接を行い採用の可否を判断した。評価項目は、おもに人間性や診療態度を重点としている。

9) 生涯学習センター

- 1) 登録者数: 2023年3月現在155名、うち港区医師会31名、中央区医師会6名である。
- 2) 利用者数: 2022年度は207名である。
- 3) 月例セミナーが下記のとおり開催された。
 - ① 第260回2022年4月9日(土)

遺伝診療: 遺伝子診断の現状と未来	川目 裕 (遺伝診療部 教授)
遺伝性腫瘍の遺伝カウンセリング	原田 佳奈 (遺伝診療部 認定遺伝カウンセラー)
	金子実基子 (遺伝診療部 認定遺伝カウンセラー)

② 第261回2022年6月11日(土)
FDG-PET検査について 渡辺 憲(画像診断部 助教)
患者満足度の高い腫瘍センターをめざして 永崎栄次郎(腫瘍センター 講師)

③ 第262回2022年11月12日(土)
二次性高血圧 菅野 直希(腎臓・高血圧内科助教)
大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)の現状と展望
森本 智(循環器内科 講師)

4) 第42回慈恵医大夏季セミナー 東京慈恵会医科大学附属病院医療連携フォーラム
2022年9月22日(木) 19:00~20:30 会場・オンライン開催 参加者170名

「ロボット支援手術の現状と展望」

1. 附属病院手術室の現状 鴻 信義(手術部 診療部長)
2. 呼吸器外科におけるロボット支援下手術 大塚 崇(呼吸器外科 診療部長)
3. 上部消化管におけるロボット支援手術の導入、現状、展望 藤崎 宗春(上部消化管外科 診療医員)
4. ロボット支援下臍切除術の導入と今後の展望 後町 武志(肝胆膵外科 診療医長)
5. 大腸癌におけるロボット支援手術の現状と展望 武田 泰裕(下部消化管外科 診療医員)
6. 婦人科におけるロボット支援下手術 平田 幸広(産婦人科 診療医員)
7. 慈恵医大泌尿器科におけるロボット支援手術の現状 木村 高弘(泌尿器科 診療部長)
8. 医療連携室からのお知らせ 藤井 英紀(患者支援・医療連携
センター 副センター長)